

事業所名		ジョイント合同会社				児童発達支援ぱれっとKids支援プログラム				作成日		令和7年		3月		1日	
法人（事業所）理念		障がい者・児の未来の笑顔に貢献/利用者さまに思いやりを持って謙虚な姿勢/利用者さまと共に夢を描き夢を叶える/個々の思いに寄り添える最大ではなく最高のサービス提供															
支援方針		一般的な児童発達支援違い、重度心身障がい児にとって必要な医療的ケアのサービス提供を、看護師や保育士、児童発達管理責任者を中心に行っています。学校へ通えないお子様の活動の多くは制限されており、お子さんのみならず保護者の負担も大きいのが現状です。私たちぱれっとKidsは、専門的なケアにより重度心身障がい児のお子さんの可能性を広げること、そして保護者の「心のよりどころ」、レスパイトケアを目的としています。															
営業時間		9時0分から9時0分まで				送迎実施の有無		ありなし									
		支援内容															
本人支援	健康・生活	常駐している看護師によるバイタル測定、状態観察などを行います。また、意思表示が困難であるこどもの障がいの特性及び発達の過程・特性に配慮し、小さなサインから心身の異変に気付けるよう、きめ細かな観察を行います。看護師常駐しており、胃ろう・経鼻チューブ使用している児童に対する栄養注入、吸引、吸入、与薬等の実施を行います。															
	運動・感覚	視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう、活動（戸外活動、制作、イベント参加等）を通して支援します。感覚や認知（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整の支援を行います。また、機能訓練士を中心に、遊びを通して感覚の向上・獲得を図ります。															
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚等の感覚を遊びや活動を通して、感覚・認知機能の発達を促す支援を行います。物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動のてがかりとして活用できるよう支援します。															
	言語コミュニケーション	話し言葉や各種の文字・記号を用いて、相手の意図を理解したり、自分の気持ちを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行います。文字盤・絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択・活用し、意思の伝達が円滑にできるように支援します。															
	人間関係社会性	遊びやふれあいを通して信頼関係を築き、周囲の人と安定して関係を形成するための支援を行います。集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援します。															
家族支援		看護師が常駐しているため、医療的ケアや成長の過程などの相談を行うことができます。また、一人ひとりの成長と一緒に共有し、支えていくことを大切にしています。				移行支援		ぱれっとKidsでは、それぞれのライフステージに合わせ、児童発達支援⇒放課後等デイサービス⇒生活介護と、切れ目のない継続的な支援を行っています。									
地域支援・地域連携		相談員さんを中心として、定期的に関連機関・事業所とのモニタリング・担当者会議を行っています。				職員の質の向上		適宜、利用児童の呼吸器などの医療機器のメーカーさんをお招きし、機器の使用方法などの研修を行い、安全にケアが実施できるような取り組みを行っています。									
主な行事等		1月：書初め、むーち一作りなど/2月：節分豆まき、バレンタインデーなど/3月：ひなまつり、春休みなど/4月：入学・進級式/5月：こどもの日、母の日制作/6月：父の日制作/7月：夏休み開始、七夕など/8月：水遊び、夏祭りなど/9月：敬老の日制作、お月見制作など/10月：ハロウィーンイベント/11月：プチ運動会など/12月：クリスマス会など															